

平成 29 年度 第 3 回 地方独立行政法人長野市民病院評価委員会 議事録

1 日 時 平成 29 年 8 月 10 日 (木曜日) 午後 2 時から 3 時 20 分まで

2 場 所 長野市民病院 2 階 市民健康ホール

3 出席者

(出席委員)

| | |
|-------|-----|
| 田中 榮司 | 委員長 |
| 岩野 彰 | 委員 |
| 小口 壽夫 | 委員 |
| 坂口 直子 | 委員 |
| 柳原 静子 | 委員 |

(委員以外の出席者)

| | |
|--------|---------------------|
| 池田 宇一 | (地方独立行政法人長野市民病院理事長) |
| 平井 一也 | (同 理事) |
| 藤澤 和子 | (同 理事) |
| 市川 専一郎 | (同 理事) |
| 内川 利康 | (同 経営管理担当参与) |
| 渡辺 敏明 | (同 企画財務課長) |
| 福島 孝志 | (同 総務人事課長) |

(事務局)

| | |
|-------|--------------------|
| 竹内 裕治 | (長野市保健福祉部長) |
| 小林 祐二 | (長野市保健福祉部医療連携推進課長) |
| 大井 久幸 | (同 医療連携推進課長補佐) |
| 西山 純一 | (同 医療連携推進課長補佐) |
| 相澤 優充 | (同 医療連携推進課係長) |

4 議 事

- (1) 平成 28 年度財務諸表の承認に関する意見書について
 - ・意見書 (案) 【資料 1】
- (2) 平成 28 年度中項目評価の確認について
 - ・中項目評価一覧表 【資料 2-1】
 - ・平成 28 年度業務実績報告書 【資料 2-2】
- (3) 平成 28 年度の業務実績に関する評価結果報告書について
 - ・平成 28 年度の業務実績に関する評価結果報告書 (案) 【資料 3】

5 その他

○ 開 会 午後2時

(事務局)

ご案内の時間となりました。委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして、誠に有難うございます。本日は、小林委員がご都合により欠席となっておりますが、地方独立行政法人長野市民病院評価委員会条例第6条第2項の規定で定めます定足数を満たしておりますので、ただいまから、第3回地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を開催させていただきます。

なお、本日の会議につきましては、3時30分の終了を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の委員会につきましては、公開で行い、議事録調整のため、録音させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

それでは、はじめに田中委員長様からご挨拶をいただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

(田中委員長)

本日は暑い中お集まりいただき、ありがとうございます。前は、会議が長時間になりましたが、今回は効率よく進めたいと思います。よろしくお願い致します。

(事務局)

ありがとうございました。次に、議事に入ります前に、前回第2回の評価委員会議事録の確認をさせていただきますと思います。既に資料とともにお送りしてございますが、何か修正事項等がございましたら、お願いいたします。

よろしでしょうか。それでは会議事項に入らせていただきます。

評価委員会条例第6条第1項の規定によりまして、委員長が議長となることになっておりますので、ここからは田中委員長に議長としまして議事の進行をお願いいたします。

(議長)

それでは、(1)平成28年度財務諸表の承認に関する意見書について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

資料1について説明

(議長)

ありがとうございました。ただいま事務局から、評価委員会から長野市長あてに提出します「財務諸表に関する意見書(案)」について説明がありましたが、この案でよろしいでしょうか。

「特に申し述べる意見はありません。」とあるが、「適正に行われているので特に意見はありません。」というような表記の方がいいのではないか。形式は決まっているのか。

(事務局)

特に、形式は決まっておりません。他の市などを参考に作成しました。委員長の意見のとおり、「適正に行われているので特に意見はありません。」の様な表記でも、問題ありません。

(田中委員長)

他の委員の意見はいかがでしょうか。

(異議なし)

では、表記の変更をお願いします。

次に、(2)平成28年度中項目評価の確認について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料2-1、2-2について説明

(田中委員長)

ありがとうございます。ご意見いかがでしょうか。

小項目の評価への変更は、しないということによいか。

(事務局)

評価委員会での評価は、中項目に対しての評価になりますので、小項目の評価は変更しません。ただし、評価委員会で小項目の内容を分かりやすくした方がいいと、ご意見をいただきましたので、平成29年度以降の小項目の内容に生かしていきたいと思います。

(田中委員長)

他にご意見いかがでしょうか。

(異議なし)

それでは次に、(3)平成28年度の業務実績に関する評価結果報告書について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料3について説明

(田中委員長)

ありがとうございます。ご意見いかがでしょうか。

(小口委員)

「第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」の大項目評価結果が「S」は良いが、6ページの中段の「地域包括ケアシステム構築に向けた先進的な取り組み・・・」の部分は、「がん診療」、「救急医療」、「脳・心臓・血管診療」の3本柱の事業が、先進的な取り組みをしているということであると思う。今まで市民病院として充実していなかった、地域包括ケア病棟の開設や訪問看護体制の強化をして、病院全体のレベルが上がり、「S」評価となったと思う。

(坂口委員)

地域包括ケアシステム構築に関しては、特別に先進的な取り組みとは思わない。市民病院として、総合的に医療体制を整えたことへの評価だと思う。

(市民病院)

今まで市民病院は高度医療ということで、市民病院の行いたい医療を提供していた。市民病院が市民のニーズに応える医療提供体制として、地域包括ケア病棟の開設や訪問看護体制の強化をしているので、それに対して評価していただけると嬉しいです。

(田中委員長)

「がん診療」、「救急医療」、「脳・心臓・血管診療」の先進的医療の取り組みに加えて、市民のニーズに応え、地域包括ケア病棟の開設や訪問看護体制の強化を行ったということが、今回の「S」評価になったということによろしいか。

(坂口委員)

「がん診療」、「救急医療」は元々行っており、更に平成28年度に「脳・心臓・血管診療」を加えて3本柱となったので、その点を記載してはどうか。

(市民病院)

救急医療はECU(救急専用病床)10床を開設したり、がん治療はダ・ヴィンチによる治療など、3本柱の事業が全体的にレベルアップしたということだと思う。

(田中委員長)

そのような表記の仕方がよいと思う。

「がん診療」、「救急医療」、「脳・心臓・血管診療」の先進的医療の取り組みに加えて、市民のニーズに応じて、地域包括ケア病棟の開設や訪問看護体制の強化を行ったことにしたいと

思う。

他にご意見いかがでしょうか。

2 ページに、評価に当たって考慮した4つの視点があるが、大項目や中項目の視点とは違うのか。

(事務局)

総合評価の方法として、4つの視点があります。

第1回地方独立行政法人長野市民病院評価委員会で、平成29年2月23日決定として地方独立行政法人長野市民病院事業実績評価方針の中で、総合評価の方法に4つの視点の記載があります。

(田中委員長)

分かりました。

長野市民病院の方で、意見ありますか。

(市民病院)

5 ページに「インシデントやアクシデントの具体的な発生事例数を用いた自己評価・・・」とあり、数値を入れることは難しくないが、多い方がいいのか少ない方がいいのか、判断が難しい。病院機能評価や臨床研修の評価では、予想外の事象が起こった場合は、将来のためにインシデントやアクシデントのレポートを入力するように指導があり、数値に対しての評価が難しいと思う。

(田中委員長)

インシデントやアクシデントの数は、少なければいいとは限らない。しっかり報告されていることが重要です。

(小口委員)

発生事例数というのは、おかしい。

リスクレベル3 B以上の重要な事例を検証し、件数を減らすことが大切である。この記載はなくてもいいのではないか。

(坂口委員)

下線の後半部分についても、医療事故調査委員会への外部委員の登用は、市民病院として対応済みなので、この部分も記載の必要はないと思う。

(田中委員長)

では、5 ページからの下線部分は削除とします。

他に、市民病院で意見ございますか。

(市民病院)

8 ページの下線部分について、「職員満足度調査の結果の公表により人材の確保に繋がることも検討する必要がある。」と記載があるが、調査の結果は良い評価も悪い評価もあり人材確保にどう繋がるのか、具体的に分かりにくいと思う。

(田中委員長)

市民病院の職員が努力した分、良い評価になれば職員のやる気も出て、良いサイクルに繋がっていき、更に人材確保にも繋がっていくのでは、とう話が前回ありました。

(事務局)

前回の評価委員会で今回欠席の小林委員から、職員満足度調査が高いということを市民へ周知すると共に、病院職員にも周知しながら人材確保に繋げていくことが、働き方改革が進められる中で大切ではないかという意見をいただき、それに基づき記載しました。

(市民病院)

前回の評価委員会の中では、職員満足度調査の結果が年々良い方向に向かっていると回答しており、調査の結果が高いとか低いとかの話はしておりません。

(事務局)

職員満足度調査の結果が高いと表記しづらいのであれば、「職員満足度調査の結果を踏まえ人材の確保につなげることも検討する必要がある。」にしては、いかがでしょうか。

(田中委員長)

ご意見いかがでしょうか。

(異議なし)

では、事務局の案で修正をお願いします。

他に、ご意見いかがでしょうか。

(意見なし)

それでは、意見を修正して、後日、私が委員会を代表して、市長へ提出したいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(事務局)

本日、評価結果報告書（案）について、修正事項がありましたが、修正内容の確認については、委員長に一任させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

（各委員）

了承

（事務局）

ありがとうございます。

「5その他」といたしまして、事務局から今後の予定につきましてご説明申し上げます。

只今いただきました意見を元に修正し、田中委員長に確認していただき、8月24日（木）15時15分から、評価委員会を代表して田中委員長から長野市長へ、評価結果の報告書を提出していただく予定です。

次回の委員会につきましては、暫く間が空きまして、来年2月頃に開催を予定しております。

お忙しいところ恐縮ですが、改めて開催のご案内をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

○ 閉 会 午後3時20分

（事務局）

それでは、只今をもちまして、第3回 地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。